



## 研究テーマ

## 1Seg. Digital TV Phone Design

## 目的・概要

この研究は、上記テーマにおいて、金沢美術工芸大学、千葉大学、武蔵野美術大学の3大学が、フォルム・スタイリング、インターフェイス、マテリアルというそれぞれ違ったアプローチからの製品デザイン提案を行うという方法で依頼を受けた。製品デザイン専攻の学生はこの研究に参加することにより、よりリアリティのある、企業の開発現場の評価を受けることができる。また、デザイン能力、プレゼンテーション能力の開発という観点からも、今回の他大学との合同プロジェクトは、より有意義な研究結果となった。

## 期間

2007年4月から2007年7月

## 委託者

LG Electronics Inc.

## 研究体制

授業課題導入型→プロジェクト型(選択された案について)

## 担当

デザイン科 製品デザイン専攻：村中稔 教授／浅野隆 教授  
 製品デザイン専攻4年全員 (Phase1)  
 飯田、和泉、岸野、末吉、土井、南野、二瓶、山本、横関 (Phase2)  
 飯田、和泉、南野、山本、横関 (Phase3)  
 南野智之、横関亮太 (Phase4)

## PROCESS

2007.03	プロジェクト依頼問い合わせ
2007.04.06	Phase1オリエンテーション
2007.04.19~05.02	授業導入(踏査→アイデア展開)
2007.05.02	学内選考(20案に絞る)
2007.05.30	Phase2プレゼンテーション (東京赤坂)
2007.06.25	Phase3プレゼンテーション (東京赤坂)
2007.07.20	Phase4最終プレゼンテーション (ソウル)

Phase2 Meeting  
(Akasaka Tokyo)

授業で一人3案提案したアイデアの中から20案を選定しプレゼンテーションに臨んだ。会場はLG Electronics Japan本社(港区赤坂)参加学生は9名。それぞれ自分のアイデアを発表した。その後、LGにより5案に絞り込まれた。

Phase3 Meeting  
(Akasaka Tokyo)

選定された5案を、よりブラッシュアップさせた提案。コンセプトをより明解にさせるためのデザインイメージパネルと、3Dレンダリングによるリアリティある表現でのプレゼンテーションを行った。参加学生は5名。会場は前回同様LG Electronics Japan本社(港区赤坂)その後LGにより2案に絞り込まれた。どの案も甲乙つけがたいすばらしいデザインだったが、左写真は、残念ながら最終に残らなかった作品。

Phase4 Final Presentation  
(LG Seoul)

ソウルでの最終プレゼンテーションに、各大学2案の決定案を発表した。これらの案の提出した図面をもとに、当日は韓国のモデル会社が制作したハードモデルも披露された。

各プレゼンテーションにはLG Electronics (株) デザイン経営センター・MCデザイン研究所 研究委員(現在常務、当時研究所長)、車 康熙 (チャ ガンヒ)氏が参画された。